

健 感 発1111 第 2 号  
薬生安発 1111 第 2 号  
令和 3 年 11 月 11 日

一般社団法人日本医療法人協会会長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長  
( 公 印 省 略 )

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長  
( 公 印 省 略 )

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動等に係る  
全国的な動向調査研究に対する協力について (依頼)

標記について、昨年度に引き続き、令和 3 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費 (医薬品等規制調和・評価研究事業) において、下記の研究が行われています。

当該研究の実施にあたり、別紙によりインフルエンザ定点のほか約 6 万 9 千箇所  
の主に内科・小児科・救急告示医療機関に研究班から協力依頼をさせていただきます。  
本年度は、昨年度同様、異常行動に加え、出血についても調査対象としております。  
医療機関から当該研究班への症例の報告について、貴団体所属の医療機関からの積極的な症例の報告につき、御協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、本件については、別添写しのとおり、各都道府県・保健所設置市・特別区  
衛生主管部 (局) 長へ協力をお願いしておりますことを申し添えます。

記

研 究 名 : インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向調査研究  
(令和 3 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費 (医薬品等規制調和・評価研究事業) 実施課題)

研究代表者 : 川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦